

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	12_千葉県
市区町村名	12239大網白里市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状値の数	単位	本年度目標値	本年度実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先	
大網白里市	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣が定着せずに、問題解決に意欲的に接することができない児童が増えている。	・放課後子ども教室において、学習の時間を設定し、学習習慣の定着を図る。 ・他の参加者と切磋琢磨しながら、問題解決に向けたひらめきや発見を導き出せるよう、支援員を通じてサポートしていく。	・放課後子ども教室において、学習の時間を設定し、学習の定着を図った。	学校以外で日常的に学習を行う児童が増える。	アンケート調査において、学校以外での学習時間が増加したと回答した児童の割合	50	%	30	61	－	活動の中で習慣化された学習時間が、学習リズムに大きく影響しており、参加児童の保護者へのアンケート結果においても、半数の児童により影響が出ていることが確認できた。	市ホームページ URL： https://www.city.oamishirasato.lg.jp/0000015489.html
大網白里市	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	子ども同士がふれあえる環境が少ないために、学年を超えた交流がしにくく、遊びを通じた思いやりの心を育む時間が確保しにくい状況となっている。	・活動を通じて、他学年との交流を深める。	・放課後子ども教室のプログラム通して、他学年との交流を図った。	他学年との交流を通じて、思いやりの心を育み、交流を深めることによって、学校内外での行事等を円滑に実施することができる。	放課後子ども教室アンケート調査における満足度（友達と過ごせること・学年の違う友達と遊べること）	53	%	40	60.5	－	活動を通じて、異学年との交流を深めるきっかけづくりができた。	市ホームページ URL： https://www.city.oamishirasato.lg.jp/0000015489.html
大網白里市	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	放課後に子どもたちが活用できる安心・安全な居場所が少ない。	・市内全小学校で放課後子ども教室を週2回実施することで、子ども達の安心・安全な居場所を確保する。	・全小学校で放課後子ども教室を週2回実施した。	子ども達が安心して活動できる居場所を提供する。	放課後子ども教室参加者数（延べ人数）	1147	人	1350	1159	－	感染症等の影響で休室となることがあり、昨年と比較して延べ人数も減少した。待機児童の解消を図るため、支援員の確保や運営方法の検討が必要となってくる。	市ホームページ URL： https://www.city.oamishirasato.lg.jp/0000015489.html